

決 算 報 告 書

第 1 4 期 事 業 年 度

(平成 2 9 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日)

国立大学法人東京学芸大学

平成29年度 決算報告書

国立大学法人東京学芸大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	8,247	8,247	—	
施設整備費補助金	248	250	1	(注1)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	75	68	△ 7	(注2)
うち国立大学法人設備整備費補助金(繰越額)	12	—	△ 12	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	32	32	—	
自己収入	3,763	3,585	△ 178	
授業料、入学金及び検定料収入	3,564	3,297	△ 266	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	198	287	88	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	441	387	△ 53	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
前中期目標期間繰越積立金取崩額	0	0	—	
出資金	—	—	—	
計	12,809	12,571	△ 238	
支出				
業務費	12,011	11,430	△ 581	
教育研究経費	12,011	11,430	△ 581	(注7)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	280	282	1	(注8)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	75	80	5	(注9)
うち国立大学法人設備整備費補助金(繰越額)	12	12	—	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	441	358	△ 83	(注10)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	12,809	12,151	△ 658	
収入-支出	—	420	420	

※本報告書は百万円未満切り捨てにより作成しております。

○予算と決算の差異について

(注1) 予算段階では予定していなかった施設整備費補助金が年度途中に採択されたため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。

(注2) 平成28年度補正予算(第2号)繰越額を予算額に計上していること、予算段階では予定していなかった補助金収入が年度途中に採択されたこと等により、予算額に比して決算額が7百万円少額となっております。

(注3) 平成28年度補正予算(第2号)繰越額を予算額に計上しているが、決算額には平成28年度に計上しているため、予算額に比して決算額が12百万円少額となっております。

(注4) 授業料免除額等の増加及び入学金収入が予算段階で積算した額より減収であったため、予算額に比して決算額が266百万円少額となっております。

(注5) 主として科学研究費等補助金の間接経費及びその他手数料の受入れ等により、予算額に比して決算額が88百万円多額となっております。

(注6) 予算段階では予定していなかった受託事業・共同研究の収入が減少したため、予算額に比して決算額が53百万円少額となっております。

(注7) 主として予算段階では予定していなかった退職手当の減少及び人件費の減少等により、予算額に比して決算額が581百万円少額となっております。

(注8) (注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。

(注9) 予算段階では予定していなかった補助金収入が年度途中に採択されたこと等により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。

(注10) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が83百万円少額となっております。